講義・講演・工場見学等実施報告書

大学改革推進事業（ＣＯＣ+）

<table>
<tr><td colspan="3">食と観光で世界を魅了する「かごしま」の地元定着促進プログラム</td></tr>
<tr><td>実施日時</td><td colspan="2">令和元年１１月１２日（火）　１４：４０分　～　１６：００分</td></tr>
<tr><td>実施場所</td><td colspan="2">情報工学科１年教室</td></tr>
<tr><td>実施形態</td><td colspan="2">①　講義・講演</td></tr>
<tr><td>対象学生</td><td colspan="2">情報工学科　１年　４２名（欠席者なし）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">担 当 者</td><td>鹿児島高専</td><td>企業・団体等</td></tr>
<tr><td>地域共同テクノセンター
副センター長
准教授　吉満　真一
一般教育科
教授　拜田　稔</td><td>所属：ソフトマックス株式会社
・役職：ヘルスケアシステム開発事業部
システム開発部Ｉ　執行役員部長
氏名：荒川　徹
・役職：ヘルスケアシステム開発事業部
システム開発部Ｉ　部長代理
氏名：井上　大輔</td></tr>
<tr><td>実施内容</td><td colspan="2">荒川氏による会社概要説明の後、井上氏により、医療情報システムの概略について講義がなされた。講義中に何人かが当てられて質問されたが、みんな的確に答えていた。
講義の後、医療事故の具体例が挙げられ、そのような事故を防ぐにはどのようにしたらよいかについて、８つのグループに分かれて話し合った。１０分間の話し合いの後、各グループの代表者が意見を発表した。患者や薬にバーコードをつけてミスを防ぐなど、実際の医療現場で実施されているような意見が多かった。
井上氏による丁寧な説明に感謝するとともに、情報工学科で学んでいることが実社会でどのように役立っているのかを垣間見ることができて、学生たちも喜んでいた。

 </td></tr>
</table>